

## 戦後押収された刀 米国から68年ぶりに里帰り

昭和20年8月15日、日本国民は玉音放送で日本の降伏、戦争終結を知りました。

この日を境に戦中の軍国主義から一気に変化が求められ日本は針路を大きく変えていくことになりました。

同年8月28日には連合国軍総司令部（GHQ）が横浜に設置され、武装解除、戦犯容疑者の逮捕などさまざまな指令が発せられ、それまでの社会システムの変化が求められました。日本各地では武装解除により自宅などにあった銃刀剣類の多くが関係機関に押収されました。

当時、西ノ島町で押収された刀が米国在住のポール・クライストさん（88歳）から親族である若松栄次郎さん（3度）へ平成26年1月に戦後68年ぶりに返還されました。この返還を受けて島根県の刀剣類審査登録を3月に行い、

3月20日に若松さんから西ノ島町へ軍刀が寄贈されました。寄贈式にはアメリカから長年所有されてきたクライストさんの長女トリナさんが来日され、升谷町長を表敬訪問しました。若松さんからは子供の頃に見た墓地へ刀を埋めた時と掘り出した時の様子を、トリナさんからはお父様が進駐した当時の様子や刀を選んだ理由などについて紹介されました。

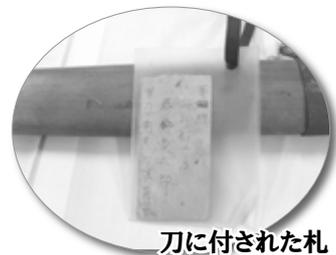


## 刀が押収されてから 返還されるまで

昭和20年に19歳で松江に進駐した米軍兵士ポール・クライストさんは、戦利品として母国に刀を持ち帰りました。彼は、当時、松江市内の広い会場でたくさん並べられた刀の中から一つだけ選ぶと言われました。

その中で1本だけ小さな札がついていた刀があったものを選びました。その刀は、陸軍下士官であった町内三度の若松政美さん（大正11年〜昭和20年）が生前に帯刀されていたものでした。政美さんは、昭和20年8月6日の広

島で原爆にあい8月14日に他界され、その後、家族が遺品として刀を墓地に埋葬しました。それから間もなく終戦となり、GHQ指令の武器



刀に付された札

Q指令の武器押収によってこの刀を父親の吉太郎さんが墓地から掘り出して関係機関に差し出されました。

クライストさんは刀を受け取った後、「この札から刀の由来がわかるかもしれない」と考えました。それから歳月が経ち、自分が生きていくうちに刀を日本の家族の方へお返ししたいという願いから、現地友人を通じて政美さんの親族関係者と面会し、これまで返還できなかった謝罪や持ち帰ったときの様子を丁寧に説明されました。その後、返還交渉を重ねた結果、親族関係者から同意を得ることができ、平成26年1月に政美さんの親族である若松栄次郎さんへ返還されました。

戦争を知るクライストさんは、刀が押収されたときの様子を次第に詳しく知り、家族のもとへ帰りたい、そして将来にわたって平和な社会が実現できるように願いを込めて刀を返還されました。

GHQ指令によって遺品の刀を墓地から掘り出し、その刀を差し出すときの親の気持ちを考えるとどれだけ辛かったのかはわかり知れませんが、23歳の若さで亡くなった政美氏。

19歳で受け

取った刀を大切にしながら返還の願いを叶えたクライスト氏。

昭和20年8月の広島原爆、そして長崎原爆。終戦、戦後の占領

政策など日本の大きな転換期となりました。日本では押収された刀剣類の多くは進駐軍の兵士の戦利品として持ち帰られたり処分されたものが多く、今回のように持ち帰った兵士から直接返還されたケースは少ないのが実情です。

当時刀に付された一枚の小さな札は、やがて返還へと導く大きな役割を果たし、刀と同様に歴史を知る重要な史料です。

戦争では若き兵士の尊い命が多く失われましたが、終戦後の復興を経て日本は平和な社会へと生まれ変わりました。こうした激動の時代を見てきた刀と札は、平和を願うシンボルとして後世まで伝えていくため大切に保存してまいります。

4月12日からふるさと館で展示しています。



寄贈された刀



# 西ノ島町観光協会

直近のイベント 隠岐の4島を回って隠岐の良さを再発見しましょう！

行 事 名	日 時	場 所
水若酢神社祭礼風流	5月3日(土)	隠岐の島町(五箇)
ピアノ弾き語りライブ	5月4日(日)	海士町(海士町図書館)
牧畑草刈りボランティア	5月5日(月)	西ノ島町(鬼舞周辺)
美田ダム周辺視察会	5月10日(土)	西ノ島町(美田)
第44回しげさ踊り	5月10日(土)	隠岐の島町(西郷港周辺)
第29回隠岐しげさ節全国大会	5月11日(日)	隠岐の島町(文化会館)
版画展、ワークショップ等(カナダと島根)	5月20日(火)～	西ノ島町(別府港)
アフリカ♪コンサート	5月24日(土)	西ノ島町(国賀浜、別府港)

## 「西ノ島ふるさと案内人」と

### バスツアーに参加しませんか？

4月1日～10月31日まで西ノ島で定期観光バスと定期観光船が運行しています。今年は観光客の満足度を高めるために、土日祝日限定に観光バスに「西ノ島ふるさと案内人」がガイドとして乗ります。ガイドの話の聞くと、隠岐世界ジオパークの宝の1つ「西ノ島」についてもっとよく分かりますし、楽しいですよ！町民のみならず、親戚や友達が隠岐に来たとき、一緒に乗ってみませんか？  
(料金：2300円～3300円)



バスツアーの様子

## 西ノ島を案内しませんか？

今年も「西ノ島ふるさと案内人」を募集しています。新しいユニフォーム、ガイドブックなどでパワーアップしたガイドクラブで、月に1回～2回勉強会を開き、とても楽しい仲間と西ノ島の良さを再発見しています。次回のミーティングは5月12日(月) 13:30～15:30で場所は別府港フェリー第2ターミナルです。テーマは黒木御所や後醍醐天皇の謎などです。興味のある方は、観光協会の江崎までご連絡ください。



壇鏡の滝で記念撮影

## 西ノ島ふしぎ発見 ③〇

～ 観光協会の中山さんと「めざせ日本一のヒラメ」釣り大会について話しました ～

- ニコラ** 6年前に西ノ島の浦郷港で巨大ヒラメが釣られたと聞きました。。。
- 中山** そうですよ！浦郷漁協前の岸壁で品川昇さんが103cmのヒラメを釣りました！
- ニコラ** 103cm？すごい！重さは？
- 中山** 14.5kgですよ！浦郷の中浜肇さんに測ってもらいました。
- ニコラ** これより大きいものはいると思いますか？
- 中山** いると思います。今年も「めざせ日本一のヒラメ」釣り大会をしています。平成20年に釣ったヒラメより大きいものを釣ったら30万円の賞金を差し上げます。
- ニコラ** WOW！今週末、釣りに行ってみます！KI Islands
- 中山** 岸壁や磯からはOKですが、船からの釣りはダメですよ！ルールをよく読んでくださいね。
- ニコラ** はい！西ノ島の海にも面白い生き物がいますね。不思議ですね！



めざせ！日本一